

きょうのごはん Vol.1

2009.12.29はっころ



皆様初めまして、こんにちは。カービィ小説MLのハガネカービィと申します。今回はカービィ小説MLのオフライン活動サークルである、カービィ小説ML出版部にお立ち寄り頂き、ありがとうございます！

カービィ小説ML（以下KNML）は『星のカービィにまつわる二次創作小説を自由に発表して、意見交換のできるメーリングリスト』になっておりまして（名前まんまですが……）、今回はカービィの小説本を発行※させて頂いた縁で、この場でチラシを配布させて頂いております。このチラシで少しでもカービィ小説の面白さを知って頂けたら、などと思っております。

さて、小説の面白さを知って頂くには……やはり読んで頂くのが一番かしら？ ということで、次のページからは短編作品を丸ごと一作、掲載してあります。今回ご紹介させて頂くのは、KNMLにて『お菓子』というお題、かつこのチラシサイズ（三千文字）で短編公募を行いました。人気投票の末に選ばれた作品です。多種多様なカービィ小説の中の一作品ではありますが、カービィ小説の楽しさを少しでも感じて頂けたら、と思います。それでは、どうぞ。

※「はるかぜのものがたり」

2009. 12. 1発行/A6(文庫)/P244/4Cカバー/4C口絵2P

カービィ小説MLのメンバー＋星のカービィファンの有志による星のカービィの短編小説集。総勢14名による小説&イラストを収録しています。

アドレーヌ直伝マドレーヌ

ひでぶ

食べ物の中でいうと、初めて「ほんもの」に

することができた絵は、カスタードプリン。あたしの大好きなお菓子。いつも食べてるから、きつとすぐにつまいくと思っていた。けれども、いざ描いてみると全然ダメで、随分困ってしまった。

結局は材料を用意して自分で作ってみたことが成功のきっかけになったのだけれど、このときのプリン作りが結構楽しくて、それからはお菓子作りもあたしの好きなことの一つになった。今ではレパートリーは十四品！カービイたちの評価を聞くかぎり、自信もある。えへん。

だから、あたしのところにお菓子の作り方を聞きに来る友達も、実は少なくなかったりする。でもまさか、あのカービイが、「お菓子を作りたい」ってうちに来るとは思わなかった！

その日はリップルスターからリボンが遊びに来る前日で、カービイは朝ごはんを食べてすぐにあたしの家に来たようだった。玄関でお願いを聞いて、あたしはびっくりする。

「食べたい、じゃなくって?」

「うん、あげようと思って……」

へえー。と、あたしは感心した。ならば、一肌脱こうではありませんか。あたしはオーケーして、カービイを家の中に招いた。

しかし、今日教える相手はあのぶぎつちよなカービイだ。これは作る品を慎重に選ばないと

大変かも知れない……あたしはそう考えて、自作のイラスト付きレシピック（ほんもの）にはなりません）を本棚から取り出した。絨毯の上に座ってそれを開くと、カービィもあたしの隣にやってきて、一緒に眺める。

シヨートケーキはいくらなんでも。クレープも……ちょっと難しいかな。あたしが悩みながらページをめくっていると、カービィがあるイラストを見て「あつ」と呟いた。あたしも「おつ」と思つた。

「これ、アドちゃんに名前が似てるお菓子だよね。これもおいしいよねえ」

マドレーヌ。これなら簡単だし、カービィでも作れるかもしれない。

「これにする？」

あたしがそう聞くと、カービィは元気よく頷いた。決定！

いざ、ダイニングキッチンへ。食卓テーブルを作業用に確保して、カービィのために踏み台も持ってくる。さて、もうここからはレッスんだ。あたしは極力手を出さないよう決心した。

マドレーヌの作り方は、一、計量した砂糖と小麦粉を粉ふるいで一緒にふるう。二、これをボールに入れて、卵を加えてホイッパーで混ぜる。三、溶かしたバターを入れ、さらに混ぜる。

四、三までで作った物を型に注いで、オーブンで焼いてできあがり」といふ感じ。

さつきも言ったけど、簡単でしょ？ うん、簡単なはずなんだけど……カービィはやっぱりカービィで、色んなアクシデンツをやらかして

くれた。型に使うアルミカップを取り出すときに、ひっくり返してばらまく、から始まり……

卵を床に落として割るわ、秤めがけて袋いっぱいいの小麦粉を全部、どばーって出すわ、挙げ句生地を混ぜる際には、どういうわけかボールが明後日の方向へ飛んでいったりなんかしたり。

正直なところ、ちよっと頭痛ものだった。

でも、舞った小麦粉で真っ白になっても、生地入りボールを頭から被っても、重なる失敗でわりとキンキン声になったあたしに叱られても、カービィは諦めなかつたし、謝る言葉も素直だった。「絶対に作ってやるぞ」と伝わつてくるカービィの意志に、あたしも投げ出してはいけないと思った。

そうして、作り始めてから二時間ちよっと。

よつやく、カービィは生地を型に注ぐところまで辿りついた。

「うう……」

カービィは真剣この上ない表情で、おたまをゆっくり傾ける。四つ目の型の上に、とろーりと注がれていく生地。平らにする、傾けるを繰り返して、型にあつた量に調節する。……そして、ぴたり。落ち着いておたまをボールに戻して、四つのアルミカップを確認し、にこやかに言った。

「できたあ……！」

横で見ていたあたしもふうっと一息。一つ目はやや量が少ないし、二つ目は溢れちゃってるけど、三つ目と四つ目はいいセン。

「やればできるじゃん、カービィ！」

「えへ……」

跳ねた生地まみれのカービィの笑顔は、最高に眩しかった。

オープンで焼いている間、カービィは照れながら口に出した。この前リップルスターに遊びに行ったとき、リボンがプレゼントをくれたのだそうである。なんてのろけ話……まったく、あんなかわいい子につくされて、カービィは幸せ者だ。

「今度はぼくも、何かあげたくてさ。リボン、お菓子好きだから、コレだって思ってたね。でも、なんとなく、『コック』とか、『アイススパーク』を使うのも、どうだろうって気がして……やっぱりコピー能力は使わないで、アドちゃんに教えてもらおう！　って、決めたんだ」

その言葉が示す真つ直くながんばりを、あた

しは今日見ることができた。きつとりボンも、

こんなカービィが好きなんだろうくに違いない。

焼き上がったマドレーヌに串を刺してみる。

串に生地はつかなかった。一つ目と二つ目はあたたしちで食べた。一つ目はちよっぴり固かったけど、二つ目は形がいびつなだけでおいしいかった。これなら三つ目と四つ目はばっちり合格点だろう。コングラッチュレーション、カービィ。

お昼ごはんを食べた後、プレゼント用の袋も作ることにした。こつちも結構時間がかかって、マドレーヌを袋に納める頃には、もうすっかり日が暮れてしまったけど、あたしもカービィも、いつぱいの達成感に満たされていた。傑作のお

しやれな袋を抱えて誇らしげなカービィと、笑顔で別れる。

次の日、あたしは家でのんびりしすぎて、昼まで絵を描きに出なかった。しまったなあと思いつつ、公園に行ってみると、そこでカービィとリボンの姿を見つけた。いつもより寄り添って見えるカップルに、何だかニヤニヤしてしまう。やれやれ。

あたしは邪魔をしないよう声はかけずに、近くのベンチに座ってスケッチブックを開いた。今日の絵の主演は、言うまでもなく。



こんにちは、ひでぶと申します。「アドレーヌ直伝マドレーヌ」の作者です。「好きなキャラを使って、緩やかで温かいのを書きたいな」という気持ちにて、本作を書かせていただきました。

冬コミ配布用のチラシに掲載ということで緊張しています……どきどき。カービイが好きな人の心に、ちよつとでも留まってくれると嬉しいなあ。この作品を読んでくださった皆様、公開する場を提供してくださったKNML運営の皆様には、感謝の気持ちでいっぱいです。

ひでぶ

ひでぶさんの作品、いかがでしたでしょうか。もしこれでカービイ小説に興味を持って頂けたようでしたら、是非KNMLを覗いてみて下さい。沢山のカービイ小説が、貴方をお待ちしています。では、Webや次のチラシで再会できることを願いつつ……失礼致します！ ハガネカービイ

◆ 奥付 ◆

きょうのごはん Vol. 1

2009. 12. 29 コミックマーケット77発行

カービイ小説ML出版部

(<http://www.knml.net/>)

本文：ひでぶ 表紙：極餅 カット：tate

発行：tate、ハガネカービイ

